

社会福祉法人
敬愛会
シクラメン通信

発行者

〒509,7321

岐阜県中津川市阿木二八二-一

社会福祉法人 敬愛会
理事長 花田美晴



CYCLAMEN



新春来福



年頭にあたり一言あいさつを申し上げます。
敬愛会は、地域での活動を始めて19年目になりました。そして、何より皆様のご協力のおかげで無事に新しい年を迎えることが出来ました事を、感謝いたしております。

しかし、ご承知のように社会福祉法人を取り巻く環境はますます変化の激しい時代を迎えています。平成28年に社会福祉法が改正され、当法人としても運営の合理化や、公益的な取組が求められるなど、法人としての様々な課題があります。そこで今年には、「支え」を主眼とした地域のネットワーク作りや人材育成に力を入れ、専門職としてのスキルアップを図りながら、今の時代だからこそ、基本に忠実に「品質」というものにこだわり続けることだと思っております。

設立以来、基本理念を「敬愛の心」「地域に愛され、地域と共に」とし、自分や家族・友人が利用したいと思うサービス提供の積み重ねを大切にしてきました。この理念は、全職員の間で共通の理念です。これからも、地域包括ケアや、地域における福祉・介護連携を進めて参りたいと思っております。

最後になりますが、皆様にとりまして新しい年がさらに良い年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

理事長 花田美晴

安岐そば・シクラメンまつりに『介護福祉ブース』を出店しました

11月24日(日)に当施設近くの中之島公園にて『第21回 安岐そばシクラメンまつり』が開催されました。

シクラメンでは平成29年の秋から、施設を身近に感じてもらいながら、今の福祉制度やシクラメンの業務を、地域の多くの方に理解していただく事を目的として、「介護福祉フェア」を2年間開催しました。今年はなるべく多くの方に介護や福祉に関心を持って頂けたらとの思いから、「安岐そば・シクラメンまつり」の会場内にブースを設けさせていただき、参加させていただきました。



安岐そばシクラメンまつりは、標高600mほどの阿木地区は「そば」の産地であり、阿木のシクラメン栽培は90年ほどの歴史があり、全国屈指の生産地として知られ、その丹精込めて育てられたシクラメンと特産品のそばをテーマにした阿木地区の魅力満載のイベントです。このイベントに出店することは、少々異色ではとの懸念もありましたが、当日は多くの方に足をとめていただきました。



シクラメンのブースでは、高齢者疑似体験や施設紹介によって介護施設について知っていただく機会を設けさせていただきました。自分の家族や身内など、身近に介護が必要になるまでなかなか知ることのない高齢者の身体の変化や、介護を考えるきっかけになればとの思いで出店しました。来場者の皆さんの関心は高かったようで、シクラメンの施設見学にも立ち寄って下さいました。



販売したポップコーンも大盛況でした！



特集

新しい年を迎えて思うこと...



『感謝の心』



新年おめでとうございます。

旧年中は、ボランティアの皆様、ご利用者様ご家族様、そして地域の皆様方からの温かいご支援とご協力を賜り、無事新春を迎えることができましたことを、心より感謝申し上げます。

さて、私もシクラメンは、法人理念を基本方針として、福祉サービス拠点としての役割を目指して活動させていただいています。現在は、各部署のリーダーがそれぞれの職員と連携・協力しながら様々な利用者のケアを行うと共に、職員の資質向上のための教育・環境整備の体制、個別ケアの充実を推し進めています。

また、昨年より外国人を雇用している事から、語学方面、生活習慣、介護用語の理解などの課題も多面的となっておりですが、一つずつ解決に向けて取り組んでいるところです。

これからも、地域の皆様と共に色々な課題に取り組んでいきたいとの思いから、今年も職員一丸となって努力して参りますので、更なるご支援を心からお願ひ申し上げますと共に、皆様にとりましてご多幸の一年となりますよう、お祈りいたします。

特別養護老人ホーム シクラメン
(短期入所「デイサービスセンター」訪問介護)

施設長 今井正子

第4回 高齢者“えがお”写真コンテスト

奨励賞

中部学院大学短期大学部の社会福祉学科が、介護福祉施設や地域で生活している高齢者の笑顔写真を一般に公開し、介護現場の魅力を広く社会に伝えることを目的として、「高齢者“えがお”写真コンテスト」を開催しており、シクラメンからも施設の行事や日常の風景など数点を応募したところ、三点の写真が一次審査を通過し、さらにその内の一点に奨励賞をいただきました。



【奨励賞】 さくら満開えがおも満開



吊るし雛と背くらべ



今日は私が主役の日

グループホーム しくらめん ホーム長 勝 千鶴

介護の仕事に就いて19年目に入りました。縁あって、グループホームに入所されておられる方と、日々生活しております。施設の中では、その人その人によって、「こだわり」があります。考え方もそれぞれに違いますが、病気になる前の過去よりも「今」を大切に考え、家族の一人として受け止めながら、不安や心配を少しでも取り除いて、安心感を持って頂ける事を考えています。表情・声・仕草も恐怖を与える事の無いようにし、「ここは良い所、この人は安心」と思ってもらえる様に、日々のサポートに励みたいと思っています。

『ホームの生活』



特別養護老人ホーム シクラメン 施設統括部長 成瀬 正道

特別養護老人ホームシクラメンは、今年の10月で20年目を迎えます。とかく入所系の介護施設は、閉鎖的な空間に成り易いため、外部の人との接点をできるだけ多く作っていくことで地域から信頼される施設を築く事ができると思っています。そこで、シクラメンでは施設の生活に地域の風を多く取り入れ、地域の方々に指導いただきながら適切な運営を行いつつ、「人の育つ施設、地域で講師が出来る職員の育成」を目標に、地域の福祉資源としての役割を今まで以上に担える様、職員一同これからも努めて参ります。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

『人が育つ施設』





久しぶりの買い物に、特に女性の方々は大喜び。お店の方に、「素敵ですよ。」等と勧められると、「赤の服がええね〜」「生地が厚いやつがええね〜」「色々あって決めれんよ〜」「どっから持って来なしたね〜」などと、皆様とても楽しそうでした。はじめは「何も要らない」とおっしゃっていましたが、利便者の方々も、会場に行き選り始めると、目を輝かせて夢中になっていらっしやいました。ご協力頂きましたYOUS様、ありがとうございました。



11月12日(火)、久しぶりに被服の出張販売を、特養一丁目のホールで行いました。以前は地元の洋品店さんにご協力いただきましたが、今回は名古屋市中区栄の「YOUS」様にお越しいただき、お店に買いに行つた時と同様に、ホールいっぱい並べられた洋服や雑貨等の豊富な品揃えの中から、気に入った衣類を選んでみました。

久しぶりの被服販売



大井シクラメン 飯地シクラメン センター長 井上 克志

『道を探ねられる人になりなさい』

大井シクラメンでは、少しでも皆様のお役にたてればとの思いから、様々な取り組みをさせていただいておりますが、いかがでしょうか。好みに合わなかったり、痒い所に手が届かないこともあり、何かと不行き届きな点やご不満などあるかと思いますが、お気づきの事などありましたら遠慮なく、どしどしと職員にお申し付けて下さい。



サテライトデイサービス 飯地シクラメン

飯地シクラメン（デイサービスセンター）では、普段、ご自宅にて一人で過ごしておられる方や、外出の機会が少ない方々にも、様々な人との交流の場、楽しみ場の場としてもご利用いただいております。



施設外観

恵那市飯地町で「のんびりデイサービス」



大井シクラメンの出張型として、地元の民家を利用してデイサービスを行っています。この日も、少人数で家庭的な雰囲気そのままに、入浴・余暇などで1日を過ごしていただいております。

居宅介護支援事業所シクラメン 管理者 伊藤 由美子

『家で幸せに暮らすために』
居宅介護支援事業所には、五人の介護支援専門員と事務員がおります。ご利用者が在宅で暮らし、いく上で、ご本人らしい生活を送れるように、お手伝いをさせていただきます。いつでも気兼ねなく相談できるよう、地域との関わりを大切にしていきたく思っております。



中津川市シクラメン地域包括支援センター 副センター長 志水 大地

『地域の皆様とともに』

新年あけましておめでとうございます。
日頃、地域包括支援センターの活動場所はまさに地域です。日々の相談業務、介護予防業務をはじめ、「阿木地域包括支援ネットワーク」などを通じ、地域の皆様、関係機関などと一緒に、今後も阿木に合った「地域包括ケアシステム」を推進していきたいと考えています。
本年も、どうぞよろしくお願い致します。



運動会に参加しました

10月20日、晴天の中、第59回阿木区民運動会に、シクラメンの技能実習生も参加させていただきました。



2人のベトナム人実習生は、地域の方に誘っていただき、いつも生活している寮の所在地である宮田地区の住民として参加させていただきました。ベトナムにも運動会はあるそうですが、種目は日本とは違うそうです。パン食い競争、大縄跳び、玉入れなどの変な競技は経験したことない、と言って興味津々でした。楽しんでいていたパン食い競争は時間の関係で参加できず、大縄跳びだけの参加でしたが、楽しい運動会だったと話していました。後で、参加できなかったパン食い競争のパンを届けてもらい大喜びでした。



実習生の日本語学習

介護の仕事では、高齢者との意思疎通や会話などの能力がとても重要視されています。よって、日本語や介護技術の習得が不足している外国人実習生には、「業務マニュアル」や「日本語学習のための資料」等を翻訳してサポートする必要があります。また、生活面では日本の文化・習慣への理解が十分でない場合、騒音やゴミ出し等で近隣住民との間でトラブルになる事態も考えられます。

これらの問題を解決するには、外国人と日本人とのコミュニケーションを円滑にする「仕組みづくり」が重要です。つまり、外国人就労者が業務を安全かつスムーズに進めるための「語学サポート」と、日本で生活していく上での負担やストレスを和らげるための「語学支援」の両方が求められています。



技能実習生の救世主??



そこで、シクラメンではベトナム人実習生が、安心して元気に実習に取り組めるよう、ベトナムから中京学院大学へ留学生として学びに来ている「ホ・ヴァン・フォン」君に、介護業務のやや複雑な意味の通訳や日本語の学習などをお願いし、毎週末に3時間程度、シクラメンで指導や勉強会をしていただいています。

実習生もフォン君が来る日を楽しみにしているようです。



デイサービスセンターシクラメン (機能訓練室) 次長 原 司



『ご利用者の想いに寄り添って』 日頃は、地域の一資源として、皆様にご活用いただき感謝申し上げます。 デイサービスセンターでは、地域との繋がりを大切に、ご利用者お一人お一人の「やりたい」想いを実現すべく、職員一丸となってご支援させていただいております。要介護状態になっても住み慣れた地域で、より自立した生活が過ごせるよう、またご家族をはじめ、多くの皆様が幸せに過ごせるよう、引き続き努力して参りますので、今後ともご理解ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。



シクラメンヘルパーセンター 主任 小栗 真弓



『温もりの宅配便』 私たちヘルパーは、開設以来「利用者の方に温もりと安心をお届けする」をモットーに活動しています。「いつまでも住み慣れた家で暮らしていただきたい」という思いを込めて、16人のヘルパーが毎日、できるだけご希望の時間に、利用者様のご自宅へ訪問させていただいております。 もちろん、お世話させていただく支援は、食事介助・排泄介助・調理・掃除など、介護保険で決められていますが、私たちは常に温もりを添えてご自宅へ伺うよう心掛けています。 2020年、今年も精一杯お世話させていただきますので、よろしくお願ひします。



敬愛の心・地域に愛され地域と共に ~真心をこめた優しい福祉サービス~

- ◀ 〒509-7321 中津川市阿木2811-1 代表 0573-63-3232 ▶
- ◀ 〒509-7201 恵那市大井町1002-3 0573-20-0533 ▶
- 特別養護老人ホームシクラメン (ショートステイシクラメン)
- デイサービスセンター大井シクラメン
- 居宅介護支援事業所シクラメン ◀直通0573-63-3202▶
- ショートステイ大井シクラメン
- シクラメン地域包括支援センター ◀直通0573-63-3202▶
- ◀ 〒509-8232 恵那市飯地町字中下165-8 ▶
- デイサービスセンターシクラメン ◀直通0573-63-3252▶
- デイサービスセンター飯地シクラメン (サテライト)
- グループホームしくらめん ◀直通0573-63-3234▶
- ◀専用090-6807-9706▶
- シクラメンヘルパーセンター シクラメン地域交流センター